

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2024No.332】(HP 収載)

分類：放送

局等：Eテレ

作曲家：カレル・コムザーク 2 世他

曲名：：アルブレヒト大公行進曲 Op.136 他

演奏：クリスティアーン・ティーレマン指揮ウイーンフィル

関連サイト：[Eテレ]2024年1月6日(土) 午後 14:00～午後 17:00

2024年1月1日ウイーン楽友会館大ホールにおける演奏です。



放送予定プログラムは下記のとおりでした。

【出演】

クリスティアーン・ティーレマン指揮ウイーンフィル
ゲスト 久石譲(作曲家・指揮者・ピアニスト)

ヘーデンボルク直樹 (ウィーンフィルチェロ奏者)

司会 赤木野々花(アナウンサー)

【楽曲】

第一部

- 01 カレル・コムザーク 2 世 : アルブレヒト大公行進曲 Op.136
02. ヨハン・シュトラウス 2 世 : ワルツ『ウィーンのボンボン』 Op.307
03. ヨハン・シュトラウス 2 世 : ポルカ・フランセーズ『フィガロ・ポルカ』
Op.320
04. ヨーゼフ・ヘルメスベルガー 2 世 : ワルツ『全世界のために』
05. エドゥアルト・シュトラウス : ポルカ・シュネル『ブレーキかけずに』
Op.238

第二部

06. ヨハン・シュトラウス 2 世 : オペレッタ『くるまば草』序曲
07. ヨハン・シュトラウス 2 世 : 『イシュル・ワルツ』遺作ワルツ 第 2 番
08. ヨハン・シュトラウス 2 世 : ナイチンゲール・ポルカ Op.222
09. エドゥアルト・シュトラウス : ポルカ・マズルカ『山の湧水』 Op.114
10. ヨハン・シュトラウス 2 世 : 新ピチカート・ポルカ Op.449
11. ヨーゼフ・ヘルメスベルガー 2 世 : バレエ『イベリアの真珠』から『学生
音楽隊のポルカ』
12. カール・ミヒャエル・ツィーラー : ワルツ『ウィーン市民』 Op.419
13. アントン・ブルックナー : カドリーユ WAB121 (管弦楽編曲 : W.デルナー)
14. ハンス・クリスティアン・ロンビ : ギャロップ『あけましておめでと
う!』
15. ヨーゼフ・シュトラウス : ワルツ『うわごと』 Op.212

アンコール曲

ヨーゼフ・シュトラウス : ポルカ・シュネル『競馬』

ヨハン・シュトラウス 2 世 : ワルツ『美しく青きドナウ』

ヨハン・シュトラウス 1 世 : 行進曲「ラデツキー行進曲」

今回は、1月1日の放送が能登半島地震の影響で中止になりましたので、1月6日の放送の録画とNHKプラスのアーカイブの再生に切り替えました。

DMR-UBZ1の録画再生とPCによるEテレのNHKプラスのアーカイブ配信を並行して再生し、DMR-UBZ1経由の放送はS/PDIF経由でSonica DACに、PCによるNHKプラスの配信はUSB経由でSonica DACに入力していますので、Sonica DACの入力切り替えで瞬時の比較が可能です。

DMR-UBZ1経由の録画再生は、スピーカーアキュライザーの位置変更とバイワイ

アリングケーブルへのケーブルチューナーの効果の確認となり、PCによるEテレのNHKプラスの配信は、上記の効果に加えてLANアクセラレーターやCrystal EpLの効果も確認することになります。





ライブ放送とライブ配信の試聴がかなわなかったことは残念ですが、録画再生もNHKプラスのアーカイブ配信もグレードが上がっており、特に後者は、LAN アクイライザーなどの効果で、十分オーディオグレードの音源と言っていいところまできています。

録画再生とNHKプラスのアーカイブ配信の瞬時切り替えの結果では、ともにNHKのサーバーから送信されてくるようなので、ほとんど違いがないくらいですが、ごくわずかに後者の方の音の肌理が細かい程度です。

今回は珍しいブルックナーのダンス曲も含まれており、全体を通してブルックナーを得意とするティーレマンの端正な指揮で折り目正しい演奏でした。

以上